

地方創生 やらまいか通信 vol.34

発行日：平成 28 年 2 月 18 日



「地方創生の連携に関する協定」締結 JA 遠州中央×袋井市

地方創生の連携に関する協定締結（日時：H28.2.18 場：袋井市役所）

写真：袋井市長と遠州中央農業協同組合経営管理委員会 鈴木会長（右）

2月18日、遠州中央農業協同組合と「地方創生の連携に関する協定」を締結しました。

調印式では、世界で戦える農産品とビジネスモデルの確立をめざし、競争力のある商品づくりなど、産業振興やまちづくりの分野で相互の連携を強化することを確認しました。

○袋井市長のコメント

「2019年ラグビーワールドカップの開催を見据え、例えば、地域の特産物を組み合わせ、ふるさと納税の返礼品を充実するほか、農資源がもたらす景観や恵みの素晴らしさなど、相互の連携を強化し、袋井の「場のチカラ」を国内外に強くPRしていきたい。」と要請。

○遠州中央農業協同組合（鈴木経営管理委員会会長）のコメント

「お茶やイチゴ、メロン、お米など、それぞれ品評会で受賞する素晴らしい農産物がとれる産地であり、袋井の魅力である農のある風景も農家があってこそ成り立つ。今後とも、行政と一体となって農業振興に注力し、地方創生の実現に向け連携していきたい」と応じた。